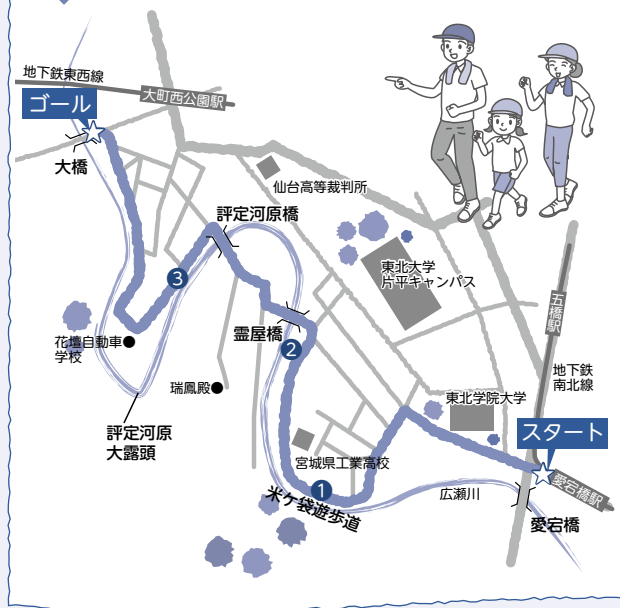


まちなかの大自然に触れる旅
—遙かなる時を超えて—

その四

せんだい
仙臺まちあるき虎の巻



◆歩行距離:3.9km ◆所要時間:59分(分速67mで計算)
※今回のコースは散策マップ「広瀬川へ行こう」(ホームページhttp://www.hirosegawa-net.com/)を参照

今回は、杜の都のシンボル・広瀬川に沿って、地下鉄愛宕橋駅から大橋までをウォーキング。東北学院大学を通り過ぎ、住宅地を抜けて米ヶ袋遊歩道(図①)に入った瞬間、目の前に広瀬川と巨大な断崖が出現!



▲米ヶ袋遊歩道から望む断崖(写真左上)と、セコイヤ類化石林(写真右下)

涼やかな風を浴びて歩くこと10分、霊屋橋の付近(図②)に直径60センチメートル程のセコイヤ類化石林を発見。約300万年前に生息していた森林の立



▲評定河原大露頭。白い凝灰岩の地層が幅約7メートルも見られます

木が化石になったもので、市の天然記念物に指定されています。霊屋橋・評定河原橋を越えて行くと、評定河原大露頭が目の前に(図③)。雄大にそびえ立つ姿に目を奪われていると、あちこちから鳥のさえずりが。心地よい音色に耳を傾けながら進んで行きます。いよいよ大橋が見えてきました。



▲江戸時代に仙台城大手門と城下を結ぶために架けられた大橋。現在の橋は昭和13年に建造

268 問 河川課 ☎214・8327、FAX 4312

ごみ減量・分別の豆知識

アルミ缶のリサイクルは地球にやさしい

アルミ缶1個をリサイクルすると、原料から新たにアルミニウムを作るときに比べて約97%のエネルギー(液晶テレビを2~3時間見られるエネルギー)が節約できます。



▲缶やペットボトルなどの資源物は種類ごとに分けず、まとめて回収容器へ

市では、缶やペットボトル等を週1回収集しています。缶はアルミとスチールの選別が困難になるので、つぶさず。反対に、ペットボトルはできるだけ多く回収箱に入るように、つぶして出してください。

問家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX214・8277



知って役立つ! ワンポイント防災講座

SBLは頼れる防災リーダー

各地域で活動している「仙台市地域防災リーダー(SBL)」をご存じですか。

SBLは、平常時は防災計画作りや訓練の企画運営を行い、災害時には、避難誘導や救助・救護活動、避難所運営などで活躍します。



▲地域の危険箇所などをチェックしている様子。災害に備えてさまざまな知識や技術を身に付けています

今年も養成講習会を行いますので、地域の自主防災組織を活性化させたい方は、ぜひご応募ください。(16ページ参照)

問減災推進課 ☎214・3109、FAX214・8096